

アシナガバチとミツバチ

刺す虫



フタモンアシナガバチ 体長約15mm



サッシの窓枠につくったコアシナガバチの巣 約5cm



ニホンミツバチと樹の巣



ヨウシュミツバチと巣箱

発生時期		アシナガバチ											
月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

発生 多い

アシナガバチ類は都心でも普通に見られます。肉食で、樹木や庭木の害虫駆除に活躍している益虫ですが、驚かせると人を攻撃します。

生態

普通に見られるのはフタモンアシナガバチ、セグロアシナガバチ、コアシナガバチなどです。軒下や生垣、樹木などいろいろなところに巣を作ります。攻撃性は強くありませんが、うっかり触ったり、巣にいたずらしたりすると刺されます。特に盛夏から初秋にかけては個体数が増え、洗濯物と一緒に取り込まれたりします。

ミツバチは農業上の益虫ですが、つまんだりすると刺されます。

飼育されるのは、ヨウシュミツバチですが、多摩の山にはニホンミツバチも生息しています。

防除

巣を取り除くのが最良で、初夏のころまでの小さな巣のうちに除去するのがコツです。夜、ハチが活動を停止している間にスプレー式の殺虫剤を吹き付けます。大型の巣の場合は専門家に頼むのが無難です。